



令和8年1月14日

エコ・ファーストの約束

～環境先進企業として地球環境保全の取り組み～

環境大臣 石原宏高 殿

株式会社橋本店

代表取締役社長 武田文孝

株式会社橋本店は、中小建設企業における環境取組のロールモデルとして、これらの取組を通じ、持続可能な建設業の実現と地域社会との共生を目指します。今後も、他の中小企業にも展開可能な環境経営モデルの構築に向けて、継続的に挑戦を続けてまいります。

1. 気候変動への対応

- ・2050 年カーボンニュートラルを目指します。
- ・2040 年度までに Scope1・2 排出量を 2013 年度比 50%削減します。
- ・Scope3(主要建設資材:セメント・鉄鋼・生コンクリート等)は 2025 年度中に算定し、2026 年度内に公表します。
- ・再エネ 100 宣言 RE Action に基づき、『2030 年度 60%/2040 年度 100%』の再エネ導入を段階的に実現します。
- ・Scope1・2 の数値表示(グラフ等)を 2025 年度内に Web で開示します。

2. 循環経済(サーキュラーエコノミー)の推進

- ・建設副産物の再資源化と最終処分率削減を強化し、2030 年度 3%以下/2040 年度ゼロ目標を掲げます。
- ・電子マニフェスト・X-point によるペーパーレス化、eco 検定の全社員取得(2030 年 100%)、ZEB Ready の普及を推進します。
- ・原材料調達方針を 2025 年度内に Web で公表し、エコマーク製品・再生材の優先採用を徹底します。

3. 自然再興(ネイチャーポジティブ)

- ・自然資本の保全を経営マテリアリティとして明確化し、経営方針・教育に反映します。
- ・名取市「ハマボウフウ」保全活動について、地域団体・行政と連携し、保護区再整備・育成地管理・啓発の再始動計画を実行します(震災・コロナによる中断を経て再開)。
- ・ネイチャーポジティブ宣言等のイニシアチブに沿い、活動の可視化と発信を継続します。

株式会社橋本店は、上記の取り組みの進捗状況を確認し、その結果をホームページなどで定期的に公表するとともに、環境省へ報告します



株式会社 橋本店